

令和5年5月25日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

5月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 91歳 平均介護度 2.3

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・下肢運動
- ・ 計算ドリル・新聞折り・塗り絵・折り紙
- ・ 壁画作り・お焼き作り・ちらし寿司作り・押しずし作り
- ・ ドライブ～運動公園・ひだまりパーク桜観賞・万葉公園の鯉のぼり観賞
- ・ 行事～玉ねぎ収穫・夏野菜植え

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 6件（転倒・負傷・薬の飲み忘れ）
- ・ ヒヤリハット 0件

【研修】

- ・ 高齢者虐待研修～2名
- ・ 感染症研修～9名

【感染症訓練実施】

- ・ 昨年8月に施設内でコロナ感染症クラスターが発生した。体験を元に対策を立て訓練を実施した。
→クラスターになった時、すぐに対応すべきことが多すぎて何から手を付け

て良いか戸惑った。管理者が行う事も多く、主治医や保健所・本社・家族への連絡だけでも時間を取られたが、感染した方の対応・していない方の対応・職員への指示や施設内のゾーニング等の対応もすぐに指示しなくてはならない状況だった。感染拡大には初動対応がとても重要であり、職員の役割分担の明確化が必要だと感じた。



対策

- ① 管理者は指示官となり、初動対応を行う上で職員 あ役割分担の内容を具体化した。
- ② ゾーニングや必要物品、感染時の対応内容等はその職員でもすぐに把握できるように、手順書を作成した。
- ③ 防護服の着脱時、感染してしまう危険がある為、着脱方法も指導

【その他】

・面会について5月より緩和となり、対面面会を行っている。今まではドア越し面会であった為会話も繋がりにくかったが、対面となり会話も職員が仲介しなくてもスムーズに行う事が出来、入居者の方の笑顔や会話も増え、ご家族の方共に喜ばれている。

(意見)

・5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、施設の面会も緩和されたようで入居者・家族の方の安心につながると思います。施設では感染症訓練実施され、いざという時の対応について日頃から皆で話をする場を持つという事が今後も大切になってくると思います。引き続き対策への取り組みを行っていくようお願いしたい。

・地域行事は少しずつ行っている。以前のように入居者の方も参加できる日が来ると良い。

・地域行事として6月排水掃除がある。